

授業科目名	基礎看護技術論	担当教員	休波茂子
必修	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

### 【授業概要】

看護学の学問体系において、その基盤となる専門領域が基礎看護学である。看護師は看護技術を用いて看護を実践していくことから、看護活動の前提となる看護技術をEBNの視点から考察する。さらに、広汎な看護の対象に提供する看護技術を、EBNの視点から探求することで、科学的思考やクリティカルシンキング等の基礎的思考能力を取得する。

### 【授業目的・目標】

1. 看護における技術について理解する。
2. 看護活動に必要な看護技術について考察する。
3. 日常生活援助技術と治癒促進および治療に伴う看護技術のエビデンスについて探求する。
4. 看護実践の方法について説明できる。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- [01] 「技術」と「看護技術」
- [02] 看護技術の展開過程、特殊性と独自性、看護の方法としての「看護技術」
- [03] 看護技術において必要な「観察」
- [04] 看護実践の前提となる技術
- [05] 看護技術の原則「安全」とは
- [06] 看護技術における「安楽性」
- [07] 看護技術のエビデンス
- [08] 看護技術における倫理的問題

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

1. 志自岐康子他編集（2017）ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 第6版，MCメディア出版
2. 川島みどり監修（2003）実践看護技術学習支援テキスト基礎看護学，日本看護協会出版会
3. 阿曾洋子著他（2006）実践へつなぐ看護技術教育，医歯薬出版
4. 川島みどり著（2010）看護技術の基礎理論，ライフサポート社

### 【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%、課題レポート 20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に事前課題を提示するため必ず行って授業に臨むこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習を行うこと。

### 【教育目標との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力と関連する。

### 【試験や課題レポートなどに関するフィードバック】

試験や課題レポートについてはその都度評価し返却をする。

### 【備考】

この科目は基礎看護学「日常生活援助論」「治療援助論」と関連が深く基礎となるため理解しておくこと。